

**1 AIの時代を生きる
未来をデザインする想像力と共感力**



- ① 美馬 のゆり/著
- ② 岩波書店
- ③ 860円
- ④ 00ミ021

日常でAIの存在感は増し、生活が便利になる反面、仕事は奪われる……。AIと人間の未来は？！ 未来に向けて必要なのは、共有する「共感力」と仕組みを発見してモノを作る「創造力」。AIの歴史や仕組み、私たちが未来のために何をすべきか、分かりやすく説明してあります。肩の力を抜いて読んでほしい一冊です。

2 親のことが嫌いじゃないのに「なんかイヤだな」と思ったときに読む本



- ① 藤木 美奈子/著
- ② WAVE出版
- ③ 1400円
- ④ 14フ022

家族だからうまくやっていきたいのに、気持ちが重くなる。親のことが「なんかイヤ」でモヤモヤする。そんな思いを抱えたことが誰でもあるはず。その気持ちを乗り越えるためのさまざまな方法が紹介してあります。セルフヘルプ（自分で自分を守ること）という新しい習慣について知ることができます。

3 紛争・迫害の犠牲になる難民の子どもたち



- ① 国連難民高等弁務官事務所/著
UNHCR駐日事務所/協力
櫛田 理絵/訳
- ② 合同出版
- ③ 2800円
- ④ 36コ022

難民はどのような人たちなのか、今どのような生活を送り、何を必要としているのか、丁寧に説明されています。ある日、自分の意思と関係なく、住んでいる土地を離れることになったら？世界で起こっている真実や子供たちの想いを伝えてくれる一冊です。難民の子供たちが描いた絵も掲載されています。

**4 空を見上げてわかること
身近だけど知らない気象予報士**



- ① 齊田 季実治/著
- ② PHP研究所
- ③ 1300円
- ④ 45サ022

今日着る服、紫外線の量など、私たちの暮らしと密接にかかわっている天気。気象情報は、日常生活だけでなく、台風や大雨、地震などの自然災害に対する防災のカギを握っています。気象予報士の仕事や気象予報の未来について丁寧に語られていて、気象情報をより身近に感じることができる一冊です。

**5 食べものが足りない！
食糧危機問題がわかる本**



- ① 井出 留美/著
手塚 雅恵/絵
- ② 旬報社
- ③ 1400円
- ④ 61イ022

「2050年、世界の3人に1人がベジタリアンになる？」、「世界中の人が日本人と同じ生活をする、地球が2.9個必要です。」確かな根拠をもとに、これから生きる私たちが知っておかなければいけないことを、数値や図を用いて解説しています。SDGsの達成のために、学んでおきたいことが詰まっている一冊です。

6 <読む>という冒険
イギリス児童文学の森へ



- ① 佐藤 和哉/著
- ② 岩波書店
- ③ 900円
- ④ 90サ022

本作は、“「読む」＝作者の意図しないことを考えてみる”という新しい視点での読みを提案しています。『不思議の国のアリス』、『クマのプーさん』などイギリスの児童文学作品7作品の新しい魅力を発見し、文学のおもしろさを再考してみましょ。本を読むための、新しい冒険の扉を開いてくれる一冊です。

7 スクラッチ SCRATCH



- ① 歌代 翔/作
- ② あかね書房
- ③ 1500円
- ④ 91ウ022

中学3年の夏。最後の総体へ向けバレーの練習に励む鈴音と、市郡展への出展作品を制作する千暁。コロナ禍で中止になり、傷ついた真っ黒な僕らの青春……。スクラッチ（削り出し技法）のように、傷をつけることで見ることができる、鮮やかな青春を求めて疾走する姿を描く物語です。

8 ポーチとノート



- ① こまつ あやこ/著
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 91コ021

未来は高校2年生。机の鍵付き引き出しにはポーチとノート。ポーチの中身は生理用品。ノートには誰にも話せない気持ちを書き留めている。好きな人への気持ち、まだ月経がないことへの不安、コンプレックス……。

著者が、これからの女の子が自分らしく歩めるようにと願って書いた物語です。

9 スネークダンス



- ① 佐藤 まどか/作
- ② 小学館
- ③ 1400円
- ④ 91サ022

芸術の街ローマから東京へ転校してきた圭人。古い町並みをスケッチすることが好きな圭人は、東京でもスケッチを始めます。ある日、スプレー缶を持って壁に落書きをしている歩と出会い……。芸術と出会った少年の成長が丁寧に描かれています。成長していくためのヒントが満載の、爽快感のある作品です。

10 星屑すぴりっと



- ① 林 けんじろう/著
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 91ハ022

難病と闘う従兄弟のせいちゃんの「映画が観たいのう」の一言。頑なに映画のタイトルは教えてくれません。せいちゃんのがみたくと中学生のイルキは友人のハジメと2人で、広島から京都へ、1本の映画探しの旅に出発します。誰かのことを想う大切さをじっくり読み味わうことができる作品です。

11 ギソク陸上部



- ① 山下 白/原案
舟崎 泉美/著
- ② Gakken
- ③ 1200円
- ④ 91フ022

オリンピックでメダルを取る選手になる夢を抱いていた陸上部の颯斗。病気で右足を切断する決断をしたものの、義足になった自分の姿に絶望し、中学校の友達や陸上部の部員とも距離を感じてしまうようになります。

自分の存在意義を探し、悩み、生きていく颯斗の姿に、前を向く力をもらえる作品です。

12 “正しい”を疑え！



- ① 真山 仁/著
- ② 岩波書店
- ③ 860円
- ④ 91マ022

不安なことが多く、何を信じればいいのか分からないこの時代。情報の海で溺れてしまった時、“正しい”にしがみつきたくなります。しかし、価値観が違えば“正しい”も異なります。それでは一体、何を支えに生きていけばいいのでしょうか。そのヒントを手に入れるために、ぜひこの本を読んでみてください。

13 マスク越しのおはよう



- ① 山本 悦子/著
田中 海帆/絵
- ② 講談社
- ③ 1600円
- ④ 91ヤ022

「今なら学校に行けるかも！」マスク歴3年。マスク依存症が原因で不登校になった荒川千里子。そんな彼女が登校を決意したきっかけは……。一斉休校や緊急事態宣言、マスク着用や自粛警察。新型コロナウイルスの流行で一変した日常の中で、懸命に生きる中学2年生5人を描いた物語です。

14 笑いの力、言葉の力 井上ひさしのバトンを受け継ぐ



- ① 渡邊 文幸/著
- ② 理論社
- ③ 1300円
- ④ 91ワ022

多くの戯曲や小説などを生み出し、「言葉の魔術師」とも呼ばれた、井上ひさし。「言葉遊びとパロディの鋭いセンス」と「強い者や権威をもつ者への抵抗と反逆」を特徴とする井上作品は、どのようにして生まれたのでしょうか。井上作品を観たり読んだりする時に、併せて読みたい一冊です。

15 アップステージ シャイなわたしが舞台上に立つまで



- ① ダイアナ・ハーモン・アージャ/作
武富 博子/訳
- ② 評論社
- ③ 1600円
- ④ 93ア022

シャイが目立つことが大嫌いなシーラ。歌がうまいシーラは、友人や先生にすすめられ、学校ミュージカルに挑戦します。オーディションを受けて選ばれて、練習を重ねたシーラはミュージカルを愛するようになります。

さあ、いよいよ本番！ シーラと一緒に楽しみながら読み進めることができます。